

子育て通信【臨時号】

～子どもの自己有用感を育むために～

「自己有用感」といった言葉を、近年、教育の現場でみるようになってきました。これは子どもの社会性を育むために欠かせないものです。本コラムでは「自己有用感」について紹介します。

「自己有用感」とは、「自分は周りの人の役に立っている、頼りにされている、貢献している」と思える感情のことを言い、他者との関わりや交流の中から生まれます。

日々の家庭生活での親子のコミュニケーションを通じ、「ありがとう」や「嬉しい」などの思いを言葉で伝えることにより、子どもは「自分をいつも見ていてくれる、認めてくれている」と認識し、それが自己有用感につながります。

例えば家事のお手伝いやきょうだいの世話など、普段の出来事や行いに対して感謝をすることで子どもの自己有用感が高まります。



自己有用感が高くなると、自分の良さを自覚し他人を思いやる心が育ちます。そうすると協力して行動ができたり、積極的に自分で考えて行動ができたりなど「社会性の基礎」が形づくられていきます。

家庭でお子さんとの対話の時間を大切にして、できるところから感謝を伝えてみてはいかがでしょうか？

お子さんに対し「どんな言葉をかけてよいか分からない」、「気持ちを効果的に伝えたい」などの時は、文章にしてメッセージカードや表彰状などを渡すなど、趣向を凝らして伝えることも良いでしょう。参考として表彰状のフォーマットを作成しましたので、是非、御活用ください。

【参考（例）】

表彰状

様

あなたは、きちんとお手伝いが出来たので、感謝するとともにここに表彰いたします。

年 月 日

より

表彰状の作成のポイントは？

家事のお手伝いは、そうじ（ゴミ出し、お掃除、お風呂掃除など）、洗濯（洗濯物をたたむ、洗濯物を取り込むなど）、料理（食器洗い、調理、食事の配膳など）など、成果を具体的にしてお礼を伝えるのも良いかもしれません。

またプロセスや成長（前回より上手くできた、早くできた）を伝えてもよいでしょう。



表彰状のフォーマットは下記の QR コードから読み取り、子育て通信の令和 7 年度中にある「表彰状（記入用紙）」を選択いただきご利用ください。

墨田区役所 WEB ページで「トップページ」>「子育て・教育」>「地域教育支援事業」>「子育て通信」でも検索できます。

